

ヘメロカリス

<学名> *Hemerocallis sp.*

<分類> ヘメロカリス科(ユリ科) ワスレグサ(キスゲ)属

<草丈> 30cm~100cm

<開花期> 6月~9月

<ふやし方> 株分け

<原産地> 交配種

道内にも自生している『キガ』などが属する『キガ』属のことを学名で *Hemerocallis* と呼び、いくつかの原種を交雑してきた園芸品種群の事をヘメロカリスと呼ぶ。主に北アメリカで品種改良が盛んで膨大な数の園芸品種があり、英名で『デイリリー』(Day lily)と名がついている通り、ユリの形に似ていて、ひとつの花は1日しかもたないが、次々と花をつけ咲き続けます。花色も豊富で、白系(コアホトと呼び 本当の白ではないが、クリーム色に近い白)、黄色、ピンク、紫や複色系、覆輪などがあり、花形もシングル咲き、ダブル咲き、直径5cmほどの可愛い小輪から20cm以上もある大輪系まであり、花茎の長さも30cm程度のわい性種 ~100cmをこえる高性種まであります。

四季咲き性の種類などもある。育てやすく 造園用としてよく 利用。

<咲き方>

園芸品種 ヘメロカリスは 朝咲いて日没にしぼむのが普通であるが 翌日の午前中まで咲くもの、前日の午後から咲き、翌日の夕方まで咲くものがある

育て方

場所... 日当たりさえよければどんな所でも容易に育ち、(半日以上日が当たれば大丈夫) コンテナや花壇などに植えても放任でよく、手間がかからないので、『パーフェクトプランツ』とも呼ばれています。

株分け... 9月にかけて 丈の長さを10cm程度残し、5cm程度、土がかかるように植え付けます。

肥料 ... 春は 軽く、秋(花後)は有機質肥料など緩効性肥料を、多めに施し肥培し 充実した株を作ると翌年 良い花が咲きます。

病害虫... 丈夫で作りやすいのですが、唯一欠点なのは、白い大型のアブラムシがつきます。(特に開花直前に、花茎 つぼみ等につく。) これには1ヶ月に一回の割合で、殺虫剤等を株元にまいて置くだけで、十分予防できます。

<キスゲ カンゾウ の違い>

キスゲ (ユウスゲ) *H.thunbergii*

高さ 1m内外になり 淡黄色の花を次々と咲かせる
暗くなる夕方頃 花が開き 翌日にしおれる。

札幌では 5月末~6月末まで次々と開花する。

イガキガ *H.fluva. var. yezoensis*

花は夕方咲き始め 翌日の午後まで咲き続ける昼夜咲き

カンゾウ (ゼンティカ) *H.dumortieri*
ニッコウキスゲはエゾカンゾウと同種とされている

高さ 70 c m内外の橙色の花が咲き 昼間に咲き 夕方しぼむ
一日花で、花は食べることができる。